

令和3年度 第4回 学校運営協議会 議事録

校名	府立富田林高等学校 府立富田林中学校
校長名	高等学校長 栗山 悟 中学校長 大門 和喜

開催日時	令和4年3月5日(土) 14:55 ~ 15:55
開催場所	府立富田林高等学校 校長室
出席者(委員)	津田会長、森田副会長*、大谷副会長*、笠原委員* (*意見聴取による出席)
出席者(学校)	栗山高校校長、大門中学校長、市口高校教頭、岡本中学教頭、松井事務部長、他 事務局員
傍聴者	
協議資料	地域フォーラム(発表テーマ・発表場所一覧)
備考	

議題等(次第順)	
○協議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域フォーラムについて ・今年度の振り返り及び来年度に向けて
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
○地域フォーラムについて	<ul style="list-style-type: none"> * 「地域」は子供たちが参加する最初の「社会」であり、「とんこう地域フォーラム」は地域にとっても、子供たちにとっても、学びを核にして成長する掛け替えのない機会になっている。 * 自分の抱いた疑問や違和感をテーマとし、学内外から様々なアドバイスや指導を受け、しっかり掘り下げて形になるところまで作り上げている。 * 大勢の前で発表することにより、達成感を感じ、プレゼン力の必要性も知り、自己肯定感も生まれる。 * 発表テーマが多岐にわたり、SDGsも意識され、身近な事柄を扱っている。地域や企業・団体との繋がりから、発表内容を実際の活動・運動に繋げ、生徒たちの進路実現に活かせればなお良い。 * もう少し他業種の参加があればいい。
○今年度の振り返りと来年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> * 今年度は、コミュニティ・スクールとしてのミッションの実現と、新学習指導要領を実装するための取組みにおいて成果を上げている。他方で、「良いことは何でもやっていこう」という態度は大変素晴らしいが、必然的に教職員の多忙化をもたらしている。 * 来年度以降は教育的取組みにもコスト意識を持ち、あげた成果を列挙するだけでなく、どのようにしてあげた成果なのかが問われる。 * 高校教職員に向けてコミュニティ・スクール研修会(今なぜコミュニティ・スクールに仕組みが必要とされているのか)を開催してはどうか。 * 以前のように、生徒の代表を入れての熟議の機会があればよい。 * 新型コロナの蔓延状況に関わらず、ハイブリット型(集合+オンライン)の学校運営協議会を設定したい。 * 中高一貫校の成功例を私学も含めて視察し、情報を集めたほうがよい。 * 教職員の多忙化や施設の問題については、学校運営協議会として教育庁に意見を言ってもよい。

次回の会議日程	
日時	令和4年6月(予定)
会場	府立富田林中学校・高等学校 SSラボ(予定)